

シリーズ 三郷学

〈三郷学の視点③〉

三郷学の視点

2. 変化を見る

②歴史を学ぶー地名

三郷の歴史を知るきっかけに地名の由来を調べるがあります。

三郷市内の地名の中には、市役所がある花和田のように江戸時代の村名であったものが多くある一方、地名を新しく付けた地域もあります。

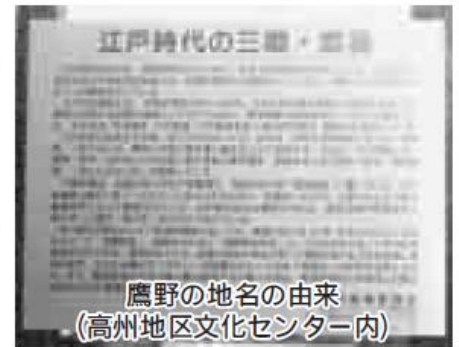
例えば、三郷市の南部に鷹野という地名がありますが、この名称は



現在の鷹野の街並み

昭和57年から使用されている比較的新しい地名です。

現在の鷹野地区とその周辺地域は、江戸時代に水戸徳川家の鷹場であったとされ、徳川幕府が編さんし



た「新編武蔵風土記」には寄巻村のこな小名(小字、村を小分けにした名のこと)に「御鷹野道」、鎌倉村の小名に「御鷹野道耕地」という地名が記されています。また、現在も、小字に「御鷹野道上・下」という名称が残っています。

歴史を知ること、三郷に愛着を持つことにつながります。そして、身近な魅力ある地域資源の発見につながります。